

平成28年安全安心なまちづくり関係功労者内閣総理大臣表彰

受賞団体（団体名五十音順）※（ ）は、推薦者

- | | | |
|----|-------------------|---------|
| 1 | 青葉校区防犯組合 | (福岡県警察) |
| 2 | いきいき行動隊 | (北海道警察) |
| 3 | 大村市竹松地区防犯協会 | (長崎県警察) |
| 4 | 菊陽町更生保護女性会 | (法務省) |
| 5 | せざき防犯パトロール隊 | (埼玉県警察) |
| 6 | 大国地区安全・安心まちづくりの会 | (大阪府警察) |
| 7 | ちづパトロール隊 | (鳥取県警察) |
| 8 | つき米駐在所安全パトロール隊 | (山梨県警察) |
| 9 | 特定非営利活動法人ケーネット知楽市 | (石川県警察) |
| 10 | 豊が丘地区自治会連合会 | (三重県警察) |



平成28年10月19日 於：首相官邸

功 績 概 要

推 薦 者	福 岡 県 警 察
団 体 名	青葉校区防犯組合
所 在 地	福岡県福岡市
代 表 者	今村 靖彦
功 績 の 概 要	昭和60年、「自分たちの街は、自分たちで守ろう」を合言葉に発足。 毎日の青色回転灯装備車による青葉校区内の危険箇所を中心としたパトロールに加え、自警団・青葉地域安全パトロール隊、青葉女性パトロール隊、青葉シニアパトロール隊等による昼夜間のパトロールや子供見守り活動を実施。 パトロールにより得た情報等を基に、防犯、交通及び防災面からの危険箇所を抽出して地図に反映させた「安全安心マップ」を作成し、青葉校区内の全世帯に配布。 平成27年、子供の防犯意識の向上と健全育成を目的として小中学生50人からなる「青葉ジュニアパトロール隊」を新設し、各種活動を実施するなど、次世代のリーダー育成にも尽力。 地域住民自らが犯罪抑止のために立ち上がり、幅広い世代の参加の下でパトロールを中心とした地域安全活動を推進し、安全安心なまちづくりに大きく貢献。

功 績 概 要

推 薦 者	北 海 道 警 察
団 体 名	いきいき行動隊
所 在 地	北海道江別市
代 表 者	前東 昭
功 績 の 概 要	平成17年、下校時の子供の見守りのため、民生委員・児童委員が中心となり発足。 登下校時における子供の見守り活動に加え、保護者等に対して見守り活動に関する資料を配布し、活動を周知。 青色回転灯装備車を活用した昼夜間のパトロール活動や侵入盗・タイヤ盗難を防止するための防犯診断、特殊詐欺の被害防止に向けた啓発活動を実施。 若い世代の社会参加活動を促進するため、「地域からの理解を深め、危機感をもって未来を創造する意見交換会」の月例開催や高校の生徒会活動への支援及び大学生等の団体との意見交換会を開催。 各町内会・自治会と良好な関係を保ちながら、社会福祉団体等とも連携した横断的活動を展開するとともに、若い世代と積極的に交流して若年層の入隊者を獲得し、次世代のリーダーを育成。 多年にわたる地道な活動が地域住民から理解、賛同、信頼を得て、安全安心のリーダー的存在として安全安心なまちづくりに大きく貢献。



功 績 概 要

推 薦 者	長 崎 県 警 察
団 体 名	大村市竹松地区防犯協会
所 在 地	長崎県大村市
代 表 者	石場 貞男
功 績 の 概 要	昭和51年、地区の町内会長等により発足。 毎日の登下校時間帯における通学路等での子供見守り活動・挨拶運動に加え、夜間は、主要駅に設置した活動拠点「ふれ愛ステーション」における警戒と、その周辺の徒歩パトロールを実施し、子供・女性の見守り活動を推進。 青色回転灯装備車を活用した通学路の警戒や声掛け活動を推進。また、月1回、公園が痴漢や連れ去りなどの犯罪行為の場所にならないよう、見通しを常に良くするための草刈りやゴミ拾いなどの環境美化活動を実施するほか、市と連携して防犯灯を整備。 地元警察署から「セーフティーモデルタウン」として指定を受け、振り込め詐欺等の犯罪被害防止、高齢者の交通事故防止等を主体的に展開。 「ふれ愛ステーション」を拠点とした献身的な各種活動が、地域住民の安全安心の拠り所となっているなど、安全安心なまちづくりに大きく貢献。



功 績 概 要

推 薦 者	法 務 省
団 体 名	菊陽町更生保護女性会
所 在 地	熊本県菊池郡菊陽町
代 表 者	村上 緑
功 績 の 概 要	昭和38年、犯罪や非行からの立ち直り支援に向けて発足。 防犯委員、P T A等と連携し、児童・生徒の新学期開始時期の1週間、通学路や危険箇所等において、子供の見守り・声掛け活動を実施。 定期的に特別養護老人ホームを訪問し、高齢入居者への健康指導と入居者やその家族、地域の方を交えた交流会を開催。 毎年、本会が主体となった実行委員会を設置し、住民参加型の「明るく住みよい社会をめざす～青少年のつどい～」を開催。また、年1回、自治会、保護司会等と連携して「青少年健全育成全体研修」を開催。 防犯関係団体を始め幅広い機関・団体等と連携し、率先して防犯、子育て支援、高齢者の見守り活動等幅広い活動を展開して地域コミュニティを強化するとともに、「地域の子供は、地域全体で育てる」という機運を醸成するなど、安全安心なまちづくりに大きく貢献。



功 績 概 要

推 薦 者	埼 玉 県 警 察
団 体 名	せざき防犯パトロール隊
所 在 地	埼玉県草加市
代 表 者	浅古 八郎
功 績 の 概 要	平成15年、「自分たちの街は自分たちで守る」という意識の下、自治会の有志により発足。 毎日の児童の下校時間に合わせた青色回転灯装備車を活用したパトロールと、主要地点における警戒による児童の見守り活動に加え、徒歩による夜間パトロールを実施し、危険箇所周辺の警戒、地域住民への声掛け等を推進。 事務局に「防犯連絡窓口」を設置し、地域住民からの声や防犯情報の収集に努めるとともに、防犯相談や声掛けを積極的に実施するなど、地域に根ざした防犯活動を展開。 若い世代との積極的な交流に加え、「パトロールマニュアル」等を策定し、規律ある運営や新規入隊員がスムーズに活動に参加できる環境を整備するなど、防犯活動への参加を促進し、安全安心なまちづくりに大きく貢献。



功 績 概 要

推 薦 者	大 阪 府 警 察
団 体 名	大国地区安全・安心まちづくりの会
所 在 地	大阪府大阪市
代 表 者	寺田 守
功 績 の 概 要	平成12年、違法風俗店・違法駐車問題等に立ち向かうため、町会を中心に発足。 発足当初から月2回、風俗環境浄化、犯罪抑止対策及び青少年の健全育成を目的とし、参加者約100人による「大国地区環境浄化パレード」を実施。パレードに対する妨害事案の発生にも屈せず、会員が一致団結して活動を推進。 毎日、登下校時間帯において、「子どもの安全見まもり隊」のロゴ入りベストを着用し、通学路における子供の見守り・声掛け活動を実施。 府立大学内まちづくりライブラリーに参加し、活動状況等を紹介して次世代のリーダー育成にも尽力。 「大国のまちをよくしたい」との強い思いに賛同した地域住民が一丸となり、繁華街における環境浄化や防犯教室の開催、毎日の子供の見守り・声掛けなどに継続して取り組み、地域住民の防犯意識の高揚に向けた活動をけん引するなど、安全安心なまちづくりに大きく貢献。



功 績 概 要

推 薦 者	鳥 取 県 警 察
団 体 名	ちづパトロール隊
所 在 地	鳥取県八頭郡智頭町
代 表 者	小宮山 富美子
功 績 の 概 要	平成16年、「できる時に、できる人が、できることを」をモットーに民生委員・児童委員を中心に発足。活動の効率化を図るため、地区内に5か所の活動拠点を設置。 学校と連携し、毎日の児童の登下校時間帯における見守り・挨拶活動に加え、活動に当たる隊員と児童との交流を図り、顔の見える関係を築くため、相互交流の場を設置。 高齢者宅訪問活動を取り入れ、特殊詐欺被害防止に向けた啓発活動のほか、安否確認や地域の現状を伝える取組を推進。 隊員それぞれが「地域みんなに安心して生活してもらいたい」という強い気持ちの下、手作り情報誌により地域に必要な情報を配信するほか、ランダムな「ながらパトロール」、子供の見守り・挨拶活動、高齢者世帯への個別訪問等を推進し、安全安心なまちづくりに大きく貢献。



功 績 概 要

推 薦 者	山 梨 県 警 察
団 体 名	つき米駐在所安全パトロール隊
所 在 地	山梨県南巨摩郡富士川町
代 表 者	深澤 昭三
功 績 の 概 要	昭和40年、地区防犯連絡所の役員で構成されたメンバーによりパトロール活動を開始。 毎日の下校時間帯における通学路等での子供の見守り活動に加え、計画的に夕方から夜間、青色回転灯装備車を活用した広範囲な防犯パトロール活動を実施。 警察と連携し、農機具盗難の多発傾向に対し、各地区に防犯立て看板を設置するとともに、集中したパトロールを行うなど、犯罪情勢に即した効果的な防犯活動を推進。 毎年、特殊詐欺の注意喚起を内容としたカレンダーを作成し、高齢者世帯を個別に訪問して配布するとともに、全世帯に配布し、住民の防犯意識を高揚。 高齢化が進みつつある農村地帯という地域特性を踏まえ、警察、消防等と連携して、犯罪情勢に即した様々な防犯活動を効果的に展開するなど、安全安心なまちづくりに大きく貢献。



功 績 概 要

推 薦 者	石 川 県 警 察
団 体 名	特定非営利活動法人ケーネット知楽市
所 在 地	石川県金沢市
代 表 者	細野 昭雄
功 績 の 概 要	平成15年、I T関連企業の定年退職者らにより発足。 毎週、地域の各施設において、コンピュータウイルスやダウンロード時の著作権等の教育に関するパソコン教室を開催。また、「子どものインターネット安全・安心教室」を開催し、インターネットの仕組み、安全性、危険性、マナー等に関する教育を実施。 子供の保護者や教職員を対象とした「eネットキャラバン」に講師を派遣し、子供を守るインターネットの利用等に関する講義を実施。 平成18年から地域ブログポータルサイト「金沢 e 広見ブログシステム」を運営し、各町内会等のウェブサイトの構築や、防犯情報を始めとした各種情報発信を支援。 13年余にわたり、サイバー空間における安全安心を確保するため、社会情勢に即した各種プロジェクトを実施して、地域に根ざした地道なサイバー防犯ボランティア活動を推進するなど、安全安心なまちづくりに大きく貢献。



功 績 概 要

推 薦 者	三 重 県 警 察
団 体 名	豊が丘地区自治会連合会
所 在 地	三重県津市
代 表 者	生川 介彦
功 績 の 概 要	平成11年、「自分たちの街は自分たちで守る」という意志の下で発足。 毎日、昼・夜間に青色回転灯装備車を活用したパトロールを実施し、不審者の発見、子供の見守り、危険箇所の点検等を推進。また、定期的に警察との合同パトロールを実施し、不審者の発見や違法駐車対策を推進して、自治会内で問題となっていた青空駐車を解消。 地域の高齢化が顕著であることから、民生委員・児童委員等と連携し、高齢者世帯を個別に訪問して特殊詐欺等犯罪の防止に関する注意喚起を実施。 平成25年から、地域の高齢化問題への対策として、「三重県地域支え合い体制づくり事業」の補助金を活用し、自治会内において、福祉バスを自主運行。 地域の声に耳を傾け、できることは可能な限り取り組むといった姿勢により、防犯を始め交通対策や社会福祉といった幅広い分野において地域に根ざしたきめ細やかな活動を展開するなど、安全安心なまちづくりに大きく貢献。

